



令和4年11月1日現在

総人口	12,403人
男	6,036人
女	6,367人
世帯数	5,416世帯
島内公民館	電話 47-0264 FAX 40-1264

特集
長野県総合防災訓練
島内で実施 1500人参加

10月23日、長野県と松本市の主催による総合防災訓練が、あずさ運動公園を主会場に、島内体育館、松島中学校などをサブ会場として20年ぶりに松本市で実施されました。訓練は、長野県や松本市職員、長野県警察、各地広域消防局、陸上自衛隊等の関係機関と、島内地区住民など総勢約1500人が参加した大規模なものでした。



消防・警察・自衛隊救出救助訓練

住民参加による初期消火や救出救助、避難所開設・運営のほか、消防・警察・自衛隊による特殊機材を用いた大掛かりな救出救助や電気・水道などのインフラ復旧訓練が行われました。「訓練を体験して分かることが多かった」という参加者の声を聞きました。



応急処置訓練

応急手当はやり方が変わっている。参加して良かった。より多くの方が訓練して欲しい。
60代女性パート



消火器訓練

消火器も進化するので、定期的に訓練した方が良いでしょう。
50代男性会社員



バケツリレー訓練



吹き出し訓練



ボランティアセンター開設訓練



避難所開設・運営訓練

避難所ではやらなければならぬことが多くあると分かった。訓練しないと「いざ」という時に何もできないと改めて思った。
60代男性会社員



救出・搬送訓練

救出・搬送はこういう訓練でないと体験できない。他の訓練のサイレンで説明が聞こえなかったことが残念だった。
60代男性会社員



医療救護所設置・運営訓練

訓練の内容を言葉や文章で説明しても分からない。発信力のあるPTAや学生さんなど若い人に参加してもらった方が必要ではないか。
40代女性団体職員

災害が発生した時は地区の役員だけでなく、老若男女が集まって防災活動を行わなければなりません。自主防災組織を主体とした住民への確実で詳細な情報・連絡の徹底は、訓練で象徴的な防災ヘリやレスキュー車に負けず劣らず重要なポイントかもしれません。勝家隆地域づくりセンター長は、訓練を通して「今回、多くの住民の方に参加ねがった。また避難所開設・運営訓練には地区リーダーの方々に参加いただき多くの体験をしてもらった。今後、自分たちの地区や町会の避難所等の運営・検討に活かして欲しい」と話していました。



第3回 島内文化ふれあいまつり



令和2年にリニューアルした島内文化ふれあいまつりは、飲食による新型コロナ感染拡大防止のために、土曜日午後から日曜日正午までの1日開催にしてきました。今年は、昼食も場内で食べられるように調整し、従来の日曜日の1日で開催されました。3年ぶりに島内小学校と松島中学校の吹奏楽演奏披露や、カレーを場内で食す姿もあり、多くの住民が楽しく集いました。



「梓川かわものがたり・島内編」を資料に、その説明を行いました。また特別講師として、梓川の災害に詳しい郷土史家の赤澤久喜氏（新村地区）をお迎えし、「古梓川地図に学ぶ防災」というテーマでお話

古絵図やパネルで学ぶ

梓川かわものがたり・島内編

8月23日、島内史談会・島内公民館共催による、梓川の治水や防災を学ぶ歴史講座が開催されました。松本市梓川アカデミア館で6月に開かれた特別展「梓川かわものがたり」の島内編です。「かわものがたり」で展示された古絵図やパネルが並べられ、約30名が梓川に関する地区の歴史を学びました。

講座では島内の堰（水路）や地勢の特徴をまとめた冊子

をしていただきました。



古絵図を説明する高山会長

島内は江戸時代初期まで本流であった樽木川（現樽木堰）、支流であった梓川と、東側を流れる奈良井川に囲まれた文字通りの「嶋の内」で、河川の影響を強く受ける地形です。梓川は、特に雨量が多く傾斜が大きい暴れ川で、数年おきに氾濫・浸水を繰り返しました。江戸時代の古絵図や古文書には、現在の梓川流路となった後の川沿いの模様や、河川工事の関係文書が残され、洪水による堤防決壊と修復、それに伴う多くの農耕地流失が記されています。

「明治9年・島内村絵図面」に、小宮から現在の平瀬川西にかけて氾濫の名残と思われる、「氾濫荒地」の表記があります。梓川沿いの「荒地」は、村内のおよそ1/3の広さにおよびましたが、先人達の努力に

より、現在は優良農地や住宅地に大きく変貌しています。

梓川には治水対策のため、昭和44年に、安曇三ダム（奈川渡・水殿・稲核）が完成し、水害も夏場の水不足も解消されました。

しかし、近年想定を上回る集中豪雨が各地でたびかさなり、昨年8月には、梓川の堤防崩落や橋脚損傷という事態が発生しました。水害はダムだけでは防ぐことはできません。ハザードマップで今一度、地域の災害リスクを確認すべきでしょう。

島内史談会会長 高山和卓

公民館活動HPでも紹介

島内公民館では、公民館報以外に、ホームページでも講座案内やギャラリー展示などの活動情報を紹介しています。島内地区地域づくりセンターでは、この度ツイッターも開設しました。そちらの情報もご利用ください。

Twitter つぶやき はじめました

こんにちは！島内地区地域づくりセンターの田村あかねです。地区の楽しい情報や気になることを発信していきます。お気軽にフォローをお願いします！

ぜひフォローしてくださいね